

区境地域の防犯対策を強化するため 杉並区と中野区が西武線下井草駅周辺で 合同防犯パトロールを実施しました！

19日、西武線下井草駅周辺で、杉並区と中野区の職員、荻窪警察署、野方警察署、そして町会・自治会から約70人が参加し、区境地域における合同防犯パトロールを実施しました。区境地域は、自治体や警察の目が届きにくいいため、住民への注意喚起がより一層重要です。杉並区では、隣接区に呼びかけ、積極的に合同パトロールを行うことで、犯罪が起こりにくいまちづくりを目指しています！

杉並区では、平成15年度から警視庁のOB・OGによる安全パトロール隊を編成し、区内パトロールを行ったり、街角防犯カメラを設置するなど、区内3警察署との連携のもと、地域の協力も得ながら様々な防犯対策に取り組んできました。その結果、空き巣の被害件数は、平成14年度の1,711件をピークに、平成25年度は196件と年々減少しています。

それでも、区境は自治体や警察の目が届きにくいいため、地域住民により一層の注意喚起を呼び掛けていくことは重要です。杉並区では、区内の防犯対策に留まらず、隣接自治体との連携によって、犯罪が起こりにくいまちづくりに取り組もうと、平成23年度からは、中野区、世田谷区、武蔵野市と合同パトロールを実施しています（合計6回実施）。

本で行われた合同パトロールは、西武線沿線では初めてのものです。この地域は、空き巣被害の多発地域ではありませんが、区内全域で被害件数をさらに減らしていこうと、今回実施することにしました。

午後3時、西武線下井草駅近くにある杉並区立の公園遊び場35番（下井草2-34-9）には、杉並区と中野区の職員、警察署署員のほか、町会や自治会から約70名が集まりました。約30分間にわたり、下井草・鷺宮地域の区境およそ2キロの道のりをパトロールしました。パトロールに参加した荒川正治さん（77歳）は、「区が違ってもお隣さん同士。交流して、互いに声を掛け合えば、それが犯罪の抑止力にもつながります。力を合わせて地域の安全を守っていきたいです」と話していました。

区では、今後も安全・安心なまちづくりの実現のため、定期的・継続的にパトロールを隣接区に呼びかけていきます。



【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当・総務部広報課

TEL：3312-2111（代表）